



人が集う場所だけをグローブで覆うことにより効率よく空調を行い、自然光を拡散しながら取り込み、内部を柔らかな光で満たしている

みんなの森 ぎふメディアコスモス

GIFU MEDIA COSMOS

**可動式トップライトにより
自然の光と風の恵みを最大限に活用**

岐阜市中心市街地で進む「つかさのまち夢プロジェクト」の第1期事業として、市立中央図書館と市民活動交流センター、展示ギャラリーなどから構成される複合施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」が2015年7月にオープンした。公募型プロポーザル方式によって設計者に選ばれた伊東豊雄氏は、岐阜駅・長良川・金華山をつなぐ文化の森の創造を提唱し、都市軸となる並木道と都市に開かれた市民広場を計画。そこに配置される複合施設には、自然の素材・エネルギーを最大限に活用する工夫が込められた。

市立中央図書館が占める施設の2階天井は、薄い木材を層状に重ねて組むことで、軽やかな架構を構成する木造格子屋根。読書席や親子がくつろげるゾーン上には大きさの異なるグローブが設けられている。グローブは効果的な自然換気を行うために、上部に向けて徐々に絞られた構造となっており、その中央には六角形のトップライトを配置。トップライト中央が上下開閉し、冬は閉鎖することで暖かい空気をグローブ内に貯め、中間期や夏は開放して熱気を外部に放出する。巧みな自然換気・自然採光による設計によって、省エネルギーで快適な環境が創り出されている。



みんなの森 ぎふメディアコスモス

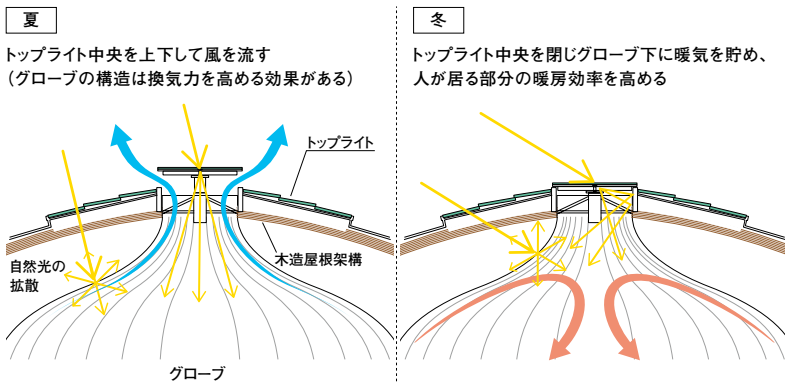
所在地／岐阜県岐阜市司町
 建築主／岐阜市
 設計・監理／株式会社伊東豊雄建築設計事務所
 建築工事／戸田建設・大日本土木・市川工務店・雛屋建設社
 特定建設工事共同企業体
 フレーム工事／パナソニック環境エンジニアリング株式会社
 オープン／2015年7月



グローブによってトップライトの大きさが異なり、外光の採り入れ量も変化している



トップライト中央のシリンダーが上下して隙間を作り排気する



主な設備

- 可動式トップライト